2017 年 12 月 6 日【第 1079 回】

クラブ会長ターゲット
「ロータリアンらしい親睦と奉仕」
"THE ROTARIAN'S
FRIENDSHIP AND SERVICES"
2017−2018年度
東京臨海ロータリークラブ会長
栗 山 義 広

国際ロータリーテーマ
「ロータリー:変化をもたらす」
"ROTARY:
MAKING A DIFFERENCE"
2017−2018年度
国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー

創 立 : 1994年8月8日
会 長 : 栗 山 義 広
副 会 長 : 本 多 信 雄
幹 事 : 髙 橋 映 治
会報委員長 : 飯 塚 憲 貴

12 月 6 日の卓話

『留学生の現況と
ローターアクトについて』
バギオ基金 副会長 斉藤 実様
元留学生 クリスティン・ワンゲット様

11 月 29 日の出席率

会員在籍者数	35 名
会員出席者数	22 名
会員欠席者数	13 名
本日の出席率	64.71%
前々回訂正出席率	80.00%

12 月 13 日の卓話

『 忘 年 家 族 会 』

≪第 1078 回例会報告 2017 年 11 月 29 日≫

司会：井上会員

■**点鐘**：栗山会長

■**ロータリーソング斉唱**
「手に手つないで」
「四つのテスト」
：ソングリーダー 西野会員

■**「ロータリーの目的」東京臨海 RCVer. 唱和**：本多副会長

■**来賓・ゲストスピーカー紹介**：栗山会長
ゲストスピーカー 村山裕一様
米山学友 李章姫様
米山学友 ベヤード・コーリー様
元バギオ基金留学生 クリスティン・ワンゲット様

■**ビジター紹介**：佐久間裕章会員
北林貴臣様（飯塚会員ゲスト）
田中雄三様（飯塚会員ゲスト）
野﨑信様（東京江戸川 RC）
荒井知久様（東京江戸川 RC）
横山晴夫様（東京練馬西 RC）
須賀精二様（東京東江戸川 RC）

■**会長報告**：栗山会長
・李章姫様に結婚祝を贈呈致します。
・ご挨拶：李章姫様
・ご挨拶：ベヤード・コーリー様
・井上晴貴会員に第 1 回米山功労者感謝状が届きましたので贈呈致します。
・中村群一会員に第 2 回マルチプル・ポール・ハリス・フェローピンが届きましたので贈呈致します。

■**幹事報告**：髙橋幹事
・11 月の理事役員会議事録を会員皆様のメールボックスに配布致しました。
・年次総会を次週 12 月 6 日（水）例会後に開催致しますので、会員皆様の出席をお願い致します。
・12 月のロータリーレートは、1 ドル＝112 円に変更になります。

■**委員会報告**
・**クラブ研修リーダー**（斉藤委員）
ロータリーの友 12 月号横組み 18 ページに、先月うかがってきた第 14 回韓日親善会議のリポートが掲載されています。ぜひご一読ください。
・**社会奉仕委員会**（田村委員長）
東京臨海 RC 旗争奪江戸川区学童オレンジボール大会の閉会式が天候の影響により 12 月 2 日（土）午後 3：30～臨海球技場に変更になりました。

■**出席状況報告**：舛本会員
⇒詳細は 1 頁バナー下に掲載

■**ニコニコ BOX 報告**：佐藤正樹副委員長
（ご意向）本日も宜しくお願い致します。：野﨑信様（東京江戸川 RC）
（ご意向）栗山会長、先日は大変お世話になりました。：荒井知久様（東京江戸川 RC）
（ご意向）本日も宜しくお願い致します。：須賀精二様（東京東江戸川 RC）
（ご意向）村山裕一様、本日の卓話、宜しくお願い致します。：佐藤輝彦会員、栗山会長、本多副会長、髙橋幹事、勝間田会員、入澤会員、井上会員、田村会員、須藤会員、西野会員、佐藤正樹会員、笹本会員、小松会員
（ご意向）田中雄三さん、北林貴臣さん、本日はようこそお越しくださいました。入会ご検討宜しくお願い致します。：飯塚会員
（ご意向）東京練馬西 RC 横山さん、ようこそいらっしゃいました。：斉藤会員
（ご意向）ロータリー財団へのご寄付、ありがとうございました。：中村会員
（ご意向）家庭集会第 3 グループ会費の残金をニコニコに寄付します。：第 3 グループ参加者一同

【20 件 53,500 円 累計 1,055,000 円】

■**卓話**：（紹介者　佐藤輝彦会員）

『靴の文化。履き方・楽しみ方 』

株式会社 RESH、株式会社靴商店インターナショナル

執行役員　村山裕一様」

・紹介者の佐藤さんは中学時代の同級生です。そのときの仲間と集まった席で依頼されました。

・私たちの会社は元々他業種の業態を運営している会社でしたがリーマンショックにより、ほぼすべての部門をたたむことになりました。その中で唯一残っていたのが、大阪の靴の修理店でした。これしかない、これをやるために頑張ると一念発起し、「靴を修理して履く文化を創る」を全国に展開するための第 1 歩を踏み出しました。最初はなかなか売上も上がらず、疑心暗鬼にもなりましたが、・お客様の姿勢は→綺麗に仕上げ、笑顔で接客、的確なアドバイス。感動を持って帰っていただくことだ・価格は→もちろんリーズナブルであること・技術は→日々学び、妥協せず、常に最高のものを提供すること・お店は→汚れる仕事だからこそ徹底的に掃除して清潔にを行動理念とし、頑張った結果、私達の理念に共感していただいたお客様も増え、そのお客様に支えられ、現在 12 店舗（直営 4 店舗・営業受託 8 店舗）を展開、スタッフも 70 人を越えようとしています。・三越などのデパート内にも出店し、靴の修理などのお手伝いをさせていただいております。この東京臨海 RC さんにも、大変うれしい偶然でお客さんがおられるとのことで、大変光栄です。その店舗ブランドは「RESH」といいますので、ご存知でない方もどうぞ宜しくお願いいたします。

・日本では昔から履かれていたのは靴ではなく、草履や下駄や雪駄などでした。そんな日本で一番最初に靴を履いたのは誰でしょうか？坂本龍馬？確かに一般的にはそう思われています。日本は高温多湿のため、靴が気候に合わなかったのです。今でも皆さん靴を履いていますが、靴の中は蒸れていますよね？いまは靴底などは加工されて通気性が良くなっています。しかし昔はすべて皮でした。その靴を外国から輸入して、販売するようになり、それを最初に履いたのが坂本龍馬なので、すこし正確ではないことがわかります。・さらに時代をさかのぼり、平安時代には遣隋使や遣唐使で中国と貿易をしていたときから、実は靴がありました。しかしその靴は木でできており、日本の文化にはなりませんでした。

・また戦国時代のもっとも有名な大名の一人、織田信長もブーツを履いていましたが、それが他の大名や武将、庶民に広がることもありませんでした。そういった知識も覚えておいてください。

・靴を使い捨てする方は、日本では 90%ですが、世界では 40%の人が同じ靴をしっかりメンテナンスをして使い続けます。一足あたりの購入価格が高いですが、何十年と使える靴を買い、しっかりメンテナンスをすれば、どちらが良いかは皆さんの判断にお任せします。

・おしゃれは足元から。ぜひみなさん、今後意識してみて下さい。

■**点鐘・閉会**：栗山会長

番外編：＜今日のメニュー(11 月 29 日)＞

鮭と彩り野菜の炒め、豚肉と栗の炒め、蟹玉、なめこと豆腐のスープ、白飯、杏仁豆腐

≪東武ホテルレバント東京中華調理長　大杉英行様≫

今週のメイクアップ（11/19～11/29）

今井忠会員(ロータリー研究会、武蔵野分区IM)
小林健一郎会員(REC Sunrise of Japan)
杉浦孝浩会員(ロータリー財団地域セミナー)

秋の家庭集会報告（第１グループ）

日　時　２０１７年１１月９日（木）　１８：３０～
場　所　千照庵　（１４名・敬称略）
リーダー　須藤宗之助　　**サブリーダー**　佐藤大輔
参加者：須藤・佐藤大輔・榎本・勝間田・村社・尾身・地引・酒井・笹本・鈴木・栗山・本多・高橋・佐久間（裕）

須藤会員：20 数年経ち平均 53 才だったのが今は他所にはないくらい若返っており、素晴らしいのと不思議な感じがする。設立当時は大変だったが、今は RE-5 となってよい関係が築けている。皆が増強をがんばっており、将来は他所が羨ましがるクラブになると思う。今は出席率などは気にすることはない。

榎本会員：このクラブは雰囲気がとても良い。休んでも皆が良く接してくれる。他のクラブは、休むとすごく感じが悪いと聞いた。仕事の都合で沢山出席することが難しいので、この雰囲気はとてもありがたいし、今後もこのままでいて欲しい。

村社会員：地方出張に行った際に、先方もロータリアンで、話がしやすい。昔ライオンズに 5 年間在籍していたが、ロータリーの方が関係性が良いと思う。今後もよろしくお願いします。

尾身会員：5 年、色々な人に出会え勉強になる。多くの人が面倒を見てくれ、こういう人間関係が続くクラブであってほしい。

鈴木会員：当クラブはバランスが良い。130 数人入って 40 人弱。新陳代謝としては速いと思うが、これまで辞めた人はつまらなくなったから辞めたが、新しい人が多くなり、スタートした時と平均年齢はあまり変わらないし、気にすることはない。現在も年代別に分けても各年代がいてバランスが取れている。入ったら長く続けて欲しい。ロータリーでの人の繋がりはとても貴重で、それをもっと理解してほしい。その為にももっと活性化していきたい。

勝間田会員：まだ入会して半年だが、皆の話を聞いて自分も会社も成長させたい。色々な人が魅力があり、楽しく、勉強になる。

酒井会員：年齢も業種も違う人と沢山知りあえて参考になる。ロータリーの有意義さだと思う。ほかのクラブは仕事の話が出ない。ロータリーを通じて経営の為になる。このまま、このクラブの良さを新しい仲間にも感じて欲しいし、沢山の人に成長して欲しい。

高橋幹事：最初はあまり出ていなかった。出るようになると面白くなり、そして奥が深いと思う。他のクラブは年配のサロンの様。このクラブは若く活気があり、素晴らしい武器であり、これを続けていきたいと思う。そのためにはまず本業を大事にして下さい。

佐久間（裕）会員：私にとってロータリーはバイブル。会社が成長できたのはそのおかげ。色々な人の意見を聞き会社にフィードバックさせる。クラブの役に立ちたいという気持ちも芽生えた。

笹本会員：来年は分区幹事になるので、それの勉強が始まっている。またさらに色々な刺激がある。外からクラブをみてみるのも良い。皆さん社長だが、人の意見を聞けるようになると長続きする。これが「寛容」。自分と違う意見を取り入れて成長していくのが大切で、年の差やキャリアを超えて付き合っていきたい。

地引会員：7 年たったが分からないことばかりである。でも諸先輩方はじめ皆さんと会うのがワクワクする。今後は風通しが良ければ長く続くと思う。新しい風が入るのは良いことだ。

佐藤（大）会員：今のクラブ内の雰囲気はとても良いと思う。ロータリーの最大の魅力は素晴らしい人達と会えること。色々な人から色々な話が聞けて、とてもありがたい。これにプラスして、バギオや米山、その他たくさんのロータリーの事業があり、何でもよいので皆がそれぞれかかわることで、更に幅が広がると思う。

栗山会長：会長、副会長をやると責任感とともに色々知ることが増えて、そして知ると更にもっと知るようになる。新しい人には自分が与えられたクラブの役割を勉強して欲しい。役割をきっかけとして勉強し、それが皆とのコミュニケーションにもなる。その積み重ねが会社にもクラブにもためになる。

本多副会長：昔の家庭集会とは違い、最近は溶け込みやすい雰囲気だと思う。他のクラブは人数が減り、役目の負担が大きくなり、それが若手にばかり押し付けられ、それがもとでやめる人がいると聞く。我々は、この良い空気を続けるために出席率は多少しょうがないにしても、役割は手伝って欲しい。それぞれの役割を各自が責任をもってやることで負担が分散され運営も楽になる。

（記. 佐藤大輔）